

小寺記念精神分析研究財団
設立 30 周年記念シンポジウム
「日本の精神分析、これまでとこれから」

小寺記念精神分析研究財団は 1993 年に創立されて以来、日本の精神分析の発展に寄与するという目標の下に 30 年間活動してまいりました。このあいだに日本の精神分析を取り巻く状況は大きく変化してきました。

精神科臨床の領域でも心理臨床の領域でも精神分析とのインターフェースがしだいに狭められているといえるかもしれません。個人が自分の内面を変化させるということから、個人をさまざまな資源によってケアすることへと、社会のニーズが変わってきているという見方もあります。日本という、欧米ほど精神分析が根づいた時期のない国において、精神分析がこれからどのように生きていく意味を見出せるのか、精神分析的实践に関わる者は深く考えるべき時期に来ているのでしょうか。

30 周年を記念するこのシンポジウムでは、日本の精神分析的实践の過去・現在・未来を広い見地から見渡していただける識見をお持ちの、多彩なシンポジストにご登壇願います。きっと精神分析的臨床の未来にとって有益な示唆を得られるだろうと思います。シンポジストの方々のご発表に対する、分析的实践の若手の担い手による討論も興味深いものになるでしょう。

対 象：広く日本の精神分析に関心を持つ方々

開催日時：令和 6（2024）年 2 月 12 日（振替休日・月）13 時～16 時半

開催場所：明治記念館 富士の間（1）

<https://www.meijikinenkan.gr.jp/access/>

司 会：藤山直樹・相田信男

シンポジスト：信田さよ子・笠井清登・國分功一郎・東畑開人

討 論 者：池田暁史・吉村聡・鈴木菜実子

定 員：200 名

参 加 費：4,000 円

主催：小寺記念精神分析研究財団

小寺記念精神分析研究財団
設立 30 周年記念シンポジウム

「日本の精神分析、これまでとこれから」
参加申込書

参加申込書は、EメールまたはFAXにてお送りください。
※Eメールの場合は、件名「30周年記念シンポジウム」として、本文に下記必要事項をご記入下さい。E-mail : kodera.kt@nifty.com
FAX : 03-3350-9749

申込締め切り 2月2日(金)

申込 月 日

フリガナ				(19 年生)
氏 名				
勤 務 先				
所 属		職 種	経 験 年	
連絡先住所 自宅・勤務先	(どちらかを○で囲んでください。 〒			
電話・FAX 自宅・勤務先	電 話	FAX		
Eメールアドレス				
<p>先着順に受け付けます。参加の可否については、受付後、順次メールにてお知らせいたします。定員になりしだい締め切ります。振込み先はその際にご案内いたします。お振込を確認後名簿にお名前を記載いたします。</p>				
<p>本セミナーをどのようにして知りましたか？該当する箇所に○を付けて下さい。 ホームページ・メール・知人の紹介・その他 ()</p>				

※記載いただいた個人情報は、セミナーのご連絡及びご案内のみに使用いたします。